

研修のねらい

- 各種ハラスメントに関する具体的な知識を習得します。
- 自らが怒りの衝動に駆られたときの対処法を身に付けます。
- 部下や後輩を、効果的に指導する方法を学びます。

これだけハラスメント問題がメディアを騒がせ、認識が広まってきているにもかかわらず、その発生件数は上昇の一途をたどっています。それは、ハラスメントに関する理解が漠然としたものにすぎず、正確に、あるいは具体的に把握されていないからといえるでしょう。ハラスメントは、被害者・加害者の人生を傷つけることはもとより、職場環境と仕事の成果にも大きな影響を与えます。モノが言いにくい職場風土では情報共有が滞り、業務の非効率化やミス頻発、職員の意欲低下等、組織力を大きくダウンさせることにつながります。

この研修では、ハラスメントが起こる要因を分析しながら、その予防策として「良好な職場風土を作る方法」を学びます。また、防止策の一環として、「自らの衝動をマネジメントする」ことについても考察していきます。

※ 下記の内容は一例です。ご要望にあわせてカリキュラムをご提案いたします。

管理監督職向け（半日コース）

1. “ハラスメント予防”への認識
 - (1) 社会のハラスメント状況を知る
 - (2) 組織への危機的影響
2. セクハラとは
 - (1) セクハラの定義
 - (2) だから難しい! グレーゾーンへの認識
◇ グループワーク ◇
3. パワハラとは
 - (1) パワハラの定義
 - (2) 他人事ではない!
◇ グループワーク ◇
4. 問題の背景にあるものは?
 - (1) 容易になくせないジェンダー、価値観
 - (2) 一番あやしい「私たちが若いときは」
 - (3) 衝動をコントロールするとは?
5. ハラスメントを予防するコミュニケーション能力
 - (1) リーダーの“宣言”と“反復”が決め手
 - (2) 情報収集と情報共有のための取組み
 - (3) 指導の際のコミュニケーションスキル
◇ グループ討議 ◇
6. まとめ
～ダイバーシティ化する職場のマネジメント～

全職員向け（半日コース）

1. パワーハラスメントへの知識と認識
 - (1) パワハラによる組織への危機的影響
 - (2) パワハラの実態と6つの類型
 - (3) 他人事ではない、誰もが陥るパワハラの実態
◇ 個人ワーク・グループワーク ◇
2. パワーハラスメントはなぜ起きるのか?
 - (1) パワハラが起こる背景
 - (2) 怒りの連鎖で職場の風土が悪化する
3. パワハラを起こさないために
 - (1) 本当のコミュニケーション能力とは?
 - (2) “アンガーマネジメント”という試み
◇ 個人ワーク・グループワーク ◇
4. やる気にさせる指導スキルの具体
 - (1) 自主性を養うコーチング指導
 - (2) 承認欲求を満たすと脳は最大限に活性化
 - (3) “叱る”のは“改善提案”
◇ 個人ワーク・グループワーク ◇
5. まとめ
～働きがいのある職場をめざして～